

エコアクション21

環境経営レポート



2023年度

運用期間 2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

有限会社 平部建設

2024年 4月30日 発行

2024年 6月17日 改定

【 目 次 】

項目No	項 目 名	レポートの 要求No	ページ
	表 紙	—	1
	目 次	—	2
1	組織の概要及び対象範囲	①②	3
	1) 事業者名及び代表者名 2) 所在地 3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡先 4) 事業創立年月日 5) 事業活動の内容 6) 事業規模 7) 推進組織図 8) 対象範囲		
2	環境経営方針	③	4
3	環境経営目標	④	5
4	環境経営目標の実績	⑥	6
5	環境経営計画と取組結果とその評価	⑤⑥ ⑦	7
6	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	⑦	8
7	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	⑧	9
8	代表者による全体評価と見直しの結果	⑨	9

※レポートの要求Noとは、建設業向けガイドライン・環境活動レポートの
レポート作成の番号①～⑨のこと。

1. 組織の概要と対象範囲

1) 事業者名及び代表者名

有限会社 平部建設
代表取締役 岡崎 久幸

2) 所在地

本社事務所 〒887-0017 宮崎県日南市梅ヶ浜一丁目10番3号

3) 環境管理責任者及び事務局、担当者氏名・連絡先

EA-21 責任者 代表者 岡崎 優作
EA-21 事務局 総務部 岡崎 美智子

連絡担当者 岡崎 優作
TEL 0987-22-2971 FAX 0987-22-3079
E-mail hirabekensetsu@btvm.ne.jp

4) 事業創立年月日

昭和38年 5月 7日 〔創立より61年〕

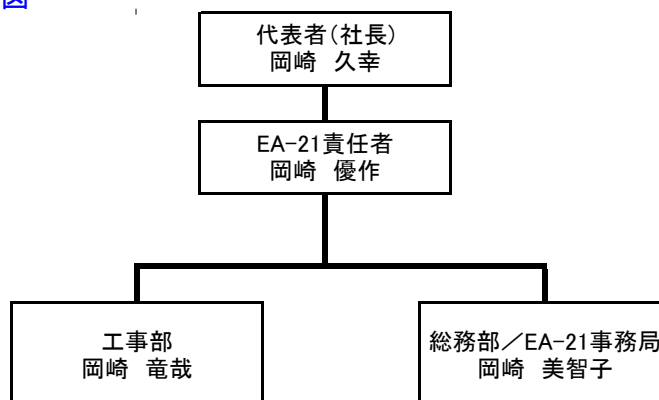
5) 事業活動の内容

建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業)

6) 事業規模

項目	単位	2021年	2022年	2023年
工事件数	件	13	14	10
従業員数	人	8	8	8
床面積	m ²	318	318	318
敷地面積	m ²	950	950	950

7) 推進組織図



8) 対象範囲

組織・・・ 本社事務所・資材置き場
活動・・・ (5)事業活動の内容全て
レポート対象期間 表紙に掲載
レポート発行日 表紙に掲載

2. 環境経営方針

環境経営方針

《企業理念》

有限会社 平部建設は、事業活動における、地域社会・自然環境へ与える影響を強く認識し、地域社会・環境へ配慮した施工を行うとともに、環境負荷の低減及び環境保全活動に全社員一丸となって自主的・積極的に、地域社会へ貢献致します。

《環境行動方針》

1. 当社は、建設工事の事業活動を通じて、環境経営マテリアリティを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的な改善に努めます。
2. 事業活動に於いて、環境に与える影響を低減するために、次の事項に対して優先的に取組みます。
 - ①電気使用量・化石燃料使用量の節減による、二酸化炭素量の削減に努めます。
 - ②節水に心掛け、水資源の保護に努めます。
 - ③事業活動により排出される、廃棄物の削減とリサイクルの推進に努めます。
 - ④地域の環境保全活動に積極的に取り組みます。
 - ⑤環境に配慮した施工を推進します。
3. 環境関連法規及びその他の環境関連の要求を遵守します。
4. 人材不足や社員の高齢化の課題に対し、社員の育成に継続的に努めます。

この環境経営方針は全社員に周知徹底するとともに、一般に公表します。

改定年月日 2020年4月 1日

制定年月日 2016年3月18日

有限会社 平部建設

代表取締役 岡崎 久幸

3. 環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。
なお、目標設定の基準は2021年度(21年4月～22年3月)のデータを使用しています。

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年 度 別 環 境 目 標			
		基準値 (2021年4月～ 2022年3月)	2022年度 (2022年4月～ 2023年3月)	2023年度 (2023年4月～ 2024年3月)	2024年度 (中期の到達目標) (2024年4月～ 2025年3月)
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所	6,511.0	6,497.9	6,484.9	6,471.9
	現場	40,298.8	40,218.2	40,137.6	40,057.0
	全体	46,809.8	46,716.1	46,622.5	46,528.9
	削減率%⇒		0.2	0.4	0.6
	①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	事務所	5,227.0	5,216.5	5,206.1
		全体	5,227.0	5,206.1	5,195.6
	削減率%⇒		0.2	0.4	0.6
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	1,725.0	1,721.6	1,718.1
		現場	2,613.0	2,607.8	2,602.5
		全体	4,338.0	4,329.4	4,312.0
	削減率%⇒		0.2	0.4	0.6
	③軽油使用量の削減 (L)	現場	13,270.0	13,243.5	13,216.9
		全体	13,270.0	13,216.9	13,190.4
2 廃棄物の削減	削減率%⇒		0.2	0.4	0.6
	①. 一般廃棄物の削減 (kg)	事務所	163.7	163.4	163.0
		全体	163.4	163.0	162.7
	②. 建設副産物再資源化率の向上	現場	排出実績 179.67トン 再資源化率92.4%	環境経営計画を遵守し再資源化率を向上する (目標 95.0%以上)	
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m ³)	削減率%⇒		0.2	0.4	0.6
	事務所 現場 全体	事務所	259.0	258.5	258.0
		現場	259.0	258.5	258.0
		全体	259.0	258.5	258.0
4. 有益な環境活動	①. 環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施)	全体	5回	5回以上/年	5回以上/年
	②. 環境配慮型製品・サービスの提供	全体	環境経営計画を遵守	環境経営計画を遵守	環境経営計画を遵守

【改訂履歴】*2019.5.1 ・2018年度を基準年、基準値として第二次3ヶ年の目標を設定
・電気のCO2排出係数は(H30)2018.12.27公表九州電力の調整後排出係数とする。
・現場電気・灯油・事務所軽油の使用量によるCO2排出比率は極めて少ないため取組項目から外した。
・2020年度の2017年版移行に備えて、CO2排出係数を2017年版に合わせた。
*2020.5.1 ・2017年版への移行に伴い、グリーン購入を取組項目から外した。
*2021.5.1 ・建設副産物は、設計書通りの廃棄を再資源化率の向上に改訂した。
*2022.5.2 ・2021年度を基準年、基準値として第三次3ヶ年の目標を設定
・電気のCO2排出係数は(R04)2022.1.7公表九州電力の調整後排出係数とする。

※化学物質(PRTR制度対象化学物質)の使用、購入、保管、移動ともありません。
※二酸化炭素排出量は下記の排出係数に基づき設定した(排出量(kg-CO₂) = 使用量(A) × 排出係数(B))

	単位	使用量(A)	排出係数(B)
購入電力	kWh		0.48 (kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	L		2.32 (kg-CO ₂ /L)
軽油	L		2.58 (kg-CO ₂ /L)

4. 環境経営目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

実績値は、2023年度運用期間(4月～3月)の12ヶ月と、目標値は基準年度(2021年度)の同期間の削減率から算出した年合計の値と比較する。

取 組 項 目			2023年度目標値 (2023年4月～ 2024年3月)	2023年度 実績 (2023年4月～ 2024年3月)	達成率	判定
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		全社	46,622.5	39,618.0	117.7%	○
①電気使用量の 削減 1.5% (kWh)	事務所		5,206.1	5,565.0	93.6%	×
	現場		0.0	0.0	－	－
	全社		5,206.1	5,565.0	93.6%	×
②ガソリン使用量の 削減 1.5% (L)	事務所		1,718.1	1,564.0	109.9%	○
	現場		2,602.5	3,006.0	86.6%	×
	全社		4,320.6	4,570.0	94.5%	×
③軽油使用量の 削減 1.5% (L)	事務所		0.0	0.0	－	－
	現場		13,216.9	10,211.0	129.4%	○
	全社		13,216.9	10,211.0	129.4%	○
2. 廃棄物の削減						
①一般廃棄物の削減 (kg)		①全社	163	163.5	99.7%	×
②建設副産物再資源化率 の向上		②現場	環境経営計画を 遵守しリサイクル率を向 上 (目標 95.0%以上)	遵守 602.3 トン (R率100%)	105.3%	○
3. 水資源使用量の削減1.0% (m ³)		全社	258	249.0	103.6%	○
4. 環境・有益な 活動	①環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施)	全社	5回以上	8回	160.0%	○
	②環境配慮型製品・ サービスの提供	全社	環境経営計画 を遵守	遵守	－	○

※ 購入電力のCO₂排出係数は、九州電力調整後の0.480を使用しました。

※ 達成率は、項目1～3が、目標/実績 100%以上が評価○で、項目4～が、実績/目標で100%以上が、評価○とする。

※ 建設副産物再資源化率の向上では95%以上を目標としていますが、工事現場の条件で達成できない場合があります。

5、環境経営計画と取組結果とその評価

2023年4月1日から～2024年3月31日までの環境活動計画と取組結果は以下の状況です。

[実施スケジュールの年間とは、4月～3月までとする。]

取組項目と活動内容		推進責任者	実施スケジュール	取組結果	評価
1・二酸化炭素排出量の削減	【電気使用量の削減】 ①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②使用しない機器の電源オフの徹底 ③空調の適温化を徹底する【冷房は26°程度、暖房は20°程度】	総務部	①年間 ②年間 ③年間	不要箇所の節電・エアコンフィルターの定期清掃については実施出来た。	○
					○
					○
	【ガソリン使用量の削減】 ①エコドライブを徹底する【アイドリングストップ、急発進・急加速及び空ぶかしの防止】 ②効率の良い配車の推進	工務部	①年間 ②年間	事務所・現場共にエコドライブに努めたが、現場条件により現場使用量が増加した。	○
					△
	【軽油使用量の削減】 ①エコドライブを徹底する【アイドリングストップ、急発進・急加速及び空ぶかしの防止】 ②建設車両への過負荷使用をしない【重掘削・過積載等】 ③重機類は始業前点検をする	工務部	①年間 ②年間 ③年間	作業効率の為にフルパワー運転をする傾向にあるが、アイドリングストップについては実施ができた、又点検も出来た。	○
					○
					○
2・廃棄物の削減	【一般廃棄物の削減】 ①カレンダー等、使用済み用紙の活用に努めている ②電子回覧やペーパーレスファックス等を利用し、できるだけ紙を排出しないようにしている	総務部	①年間 ②年間	裏紙使用、ペーパーレスについて積極的に活用出来た。	○
					○
	【建設副産物のリサイクル向上】 ①建設残余資材が発生したら、資材倉庫に持ち帰り分別して保管する(再利用の推進) ②5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)を推進する	工務部	①年間 ②年間	建設残余材の分別保管及び整理整頓の実施が出来た。	○
					○
3・水使用量	【水資源使用量の削減】 ①水道配管からの漏水を定期的に点検する(全蛇口を止め、水道メーターの動きを確認) ②機械等洗車時は泥土を落としてから行う	総務部	①年間 ②年間	メーター点検・機械洗車時の泥土落とし等、意識して実施出来た。	○
					○
4・有益な環境活動	【環境ボランティア活動の推進】 ①現場付近や事務所周辺は常に清掃し、整理整頓に努める ②地域や業界、団体等の環境ボランティア情報を把握し参加する	総務部	①年間 ②年間	現場内の整理整頓・環境ボランティア等に積極的に活動した。	○
					○
	【環境配慮型の取組推進】 ①環境配慮型の建設機械を使用する(排ガス対策型、低騒音型、低振動型、エコ操作型等) ②自主的に騒音・振動・粉塵対策を講じて施工している	工務部	①年間 ②年間	環境配慮型の重機の使用は徹底している。また、騒音・振動・粉塵の抑制についても徹底出来た。	○
					○

6、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度〔2024年度〕の環境経営目標は、下記に掲載しています。
また環境経営計画は以下の通り取組みます。

*スケジュールの年間とは、4月～翌年3月です。

取組項目と活動内容及び次年度の目標値		推進責任者	実施スケジュール
1・二酸化炭素排出量の削減 ①省エネ活動の推進 (省エネルギー項目の目標達成)		EA21 責任者	①年間
省エ ネ ル ギ ー 項 目	【電気使用量の削減】 ①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②使用しない機器の電源オフの徹底 ③空調の適温化を徹底する【冷房は26℃程度、暖房は20℃程度】 《 全社の電気使用量の目標値 5195.6 kWh 》	総務部	①年間 ②年間 ③年間
	【ガソリン使用量の削減】 ①エコドライブを徹底する 【アイドリングストップ、急発進・急加速及び空ぶかしの防止】 ②効率の良い配車の推進 《 全社のガソリン使用量の目標値 4312.0 L 》	工務部	①年間 ②年間
	【軽油使用量の削減】 ①エコドライブを徹底する 【アイドリングストップ、急発進・急加速及び空ぶかしの防止】 ②建設車両への過負荷使用をしない【重掘削・過積載等】 ③重機類は始業前点検をする 《 全社の軽油使用量の目標値 13190.4 L 》	工務部	①年間 ②年間 ③年間
2・廃棄物の削減	【一般廃棄物の削減】 ①カレンダー等、使用済み用紙の活用できる紙は使用するように努める ②電子回覧やペーパーレス機能を利用する 《 全社の一般廃棄物の目標値 162.7 kg 》	総務部	①年間 ②年間
	【建設副産物のリサイクル向上】 ①建設残余資材が発生したら、資材倉庫に持ち帰り分別して保管する(再利用の推進) ②5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)を推進する 《 全社の建設副産物の目標値 環境経営計画を遵守し再資源化率を向上(目標 95.0%以上) 》	工務部	①年間 ②年間
3・水使用量	【水資源使用量の削減】 ①水道配管からの漏水を定期的に点検する(全蛇口を止め、水道メーターの動きを確認) ②建設機械等洗車時は泥土を落としてから行う 《 全社の水資源使用量の目標値 257.4 m³ 》	総務部	①年間 ②年間
4・有益な環境活動	【環境ボランティア活動の推進】 ①現場付近や事務所周辺は常に清掃し、整理整頓に努める ②地域や業界、団体等の環境ボランティア情報を把握し参加する 《 全社のボランティア活動の目標回数 5 回以上 》	総務部	①年間 ②年間
	【環境配慮型の取組推進】 ①環境配慮型の建設機械を使用する(排ガス対策型、低騒音型、低振動型、エコ操作型等) ②自主的に騒音・振動・粉塵対策を講じて施工している 《 全社の目標 環境経営計画の遵守 》	工務部	①年間 ②年間

※ 環境経営計画の取組内容は、不具合等が発生したら、運用期間の途中でも見直します。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に係る主な環境関連法規は、担当者が定期的にWeb（環境省ホームページの環境基準・法令等）の改定履歴や建設業協会等からのお知らせ等から年次の運用開始時に見直しと取り纏めを行ってます。

尚、環境関連法規の遵守状況確認を実施した結果、違反及び監督官庁からの指摘も、地域住民からの訴訟もありませんでした。環境関連法規の遵守状況の確認と評価は、3ヶ月に1回実施し、「環境関連法規の取り纏め(兼)遵守評価表」に記述している。

現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。

〔当社の主な環境関連法規と遵守状況は下記の通りです。〕

主な関連法規名	遵守事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法(廃掃法)	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認(発行後B2,D票90日E票180日以内) A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
再生資源利用省令	・再資源利用計画書・実施書の作成 ・再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再資源化により得られた資材の使用	遵守
フロン排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施 (建設機械搭載のエアコンを含む) 【事務所エアコンが対象】	遵守 該当機器なし
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守 該当工事なし
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守 該当工事なし

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

評価項目	代表者による評価と指示〔○当年度の評価 ●次年度への指示〕
①環境経営計画の実施状況 及び 環境経営目標の達成状況	○当年度における環境経営計画は、環境経営計画(兼)実施状況評価表で確認、ほぼ実施され目標達成への一歩に繋がったと評価します。 ●次年度(2024年度)も同様に活動していただきたい。 *-----* ○環境経営目標の達成状況は、現場のガソリンを除きほとんどの項目で90%以上目標達成しており、活動の結果が現れたものと思います。 CO2削減についても年間目標を達成できたことを評価します。 ●次年度も目標達成に向けて社員一丸となり今後も環境・施工・品質を意識した活動を継続してほしい。
②環境関連法規等の遵守状況	○当社に関連する法規は、4月運用開始時に取り纏めされ、遵守されていることを確認した。 ●次年度も同様に見直し取り纏めして遵守で業務を行っていただきたい。
③外部からの環境に関する 苦情や要望等	○当年度における苦情、クレームが無かったことを確認した。 環境ボランティア活動については計画8件通り実施したことを確認し評価する。 ●次年度も同様に活動していただきたい。
④環境経営方針	○既にガイドライン2017年版に適合するように改定後、特に不具合は無い。 ●次年度も現行方針を継続する。
⑤実施体制	現行の体制で不具合が無ければ、次年度も現行体制を継続する。
⑥環境経営システム (その他全般)	特になし